

【放デイ】事業者向け		事業所名	放課後等デイサービスあおい常滑				
		アンケート実施期間	令和 5年 9月 20日から令和 5年 10月 14日まで				
		配布数	8枚(回収率 100%)				
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
環境・体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	3		定員に対して適切だと思う 利用人数に合った部屋の使用方法と職員配置を検討し、支援している	
	2	職員の配置数は適切であるか	3	3	2	利用に対して人数は適切である	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	1		段差はほとんどない	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	3		実施記録、ヒヤリハットなどをスタッフ全員に情報が行き届くよう心掛けている 話し合っている	午前からいるスタッフは支援・業務について話す、午後からのパートスタッフは結果報告になることが多いので、各自振り返りを行った内容を次の日以降のミーティングで確認することにし、業務改善について全職員の意見を取り入れられるようにしていく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	4		保護者向けアンケートを実施している 内容を現場内で共有し、改善に努めている 保護者の意見は情報共有し、意向に添える支援を心掛けている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	4			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	4	2		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	3		新人スタッフから積極的に参加してもらっている 希望者は研修になるべく参加できるようにしている 研修の案内が提示してある	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1		子どもの問題点だけでなく、強みも踏まえた上で計画を作成している 前回の回答のコピーをお渡しし、変化がある部分を重視し記入してもらう 面談時も必要なことは話をする	
適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2	2		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	2		月に1度以上会議を行った上でプログラムを作成している 活動会議で話し合う 各自、何個か提案して決めている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8			利用者・保護者からの言葉を聞き逃さないように、日々の生活の中で意識し意見を吸い上げて作成している 常に子どもの話を元に、何を喜ぶか考えている 意見を出し合い決めている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	2		長期休暇等は、お出掛けや子どもたちが楽しめる行事を計画している 利用時間や人数によって環境が大きく変わるため、個を見る支援・集団を見る支援を使い分けている 個人に現状一番必要な支援方法を話し合いながら支援するように心掛けている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			毎月会議をして決めている 基本的には集団活動であるが、活動の内容によっては個別で行ったことを全員で振り返るということも行っている 参加が難しい場合は個別で、活動内容からできそうな部分をマンツーマンで行う	

適切な支援の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			朝のミーティング、利用者登所前のミーティングを必ず行っている パートスタッフが全員揃ってから打ち合わせを行っている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	4		共有している 送迎後の打ち合わせは時間的に難しい場合が多いが、記録を取りながら話し合うようにしている 職員とパートの時間のずれがあるため、会議はないがノートを利用して共有している	記録を記入しながら、その日の支援について話す、全てのスタッフではないため、各自気づいたことや気になる事をヒヤリハットに記入し、翌日にミーティングで共有することにした
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	1		毎日記録を取っている	記録を取るときは、支援の検証・改善につながる記載が出来るようにしているが、全てを把握することが今後の課題である
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	1		半年に1度の支援計画変更の際だけではなく、日々記録の中に支援計画に対する姿を記録し、反映させている	パートスタッフの意見を聞くだけではなく、話し合いの時間が作れるよう検討している
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	3			自立の向けた活動、創作活動、余暇を行っているが、地域交流はあまり行っていない SSTの要素は、どの活動にも含まれることが好ましいと考えている
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	2			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	2	1	支援に関しても、送迎においても、学校との連携は必須と考え、適宜連絡を取っている 送迎後に連絡をしている	下校時間のトラブルは、先生・生徒に負担が大きいため、慎重に、丁寧に、確実に行われなければいけないと考えており、ミスなく送迎できるように確認を徹底する
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	5	1	今までそういった実績はないが、医療ケアが必要な利用者の情報共有は必須と考える 服用している薬の情報交換は、保護者と行っている	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	5	1	相談員を通じて情報をいただき、支援に反映させている 連絡をとり合っている	面談で聞けた場合のみの把握になってしまっている 把握しようとする意識が足りていない 今後、情報共有を支援に反映させる
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	6	1		相談員に伝えてはいるが、直接福祉サービスのスタッフ等とやり取りを行ったことはない 利用者の年齢も上がってきているので、情報提供の方法を考えたい
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	5		定期的に行っている研修の場に参加したことがある 相談員と話す機会がある時に情報を報告したり、相談したことはある	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		5	3		利用者の提案から、近くの児童館に出掛けていたことはあるが、今は数回しか行っていない コロナがあげて、家族を招待する企画で兄弟が参加してくれた時の交流は貴重な経験だと感じているので今後検討したい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	4	1		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	1		送迎や連絡帳だけでなく、直接話すべきことは電話等で話し、状況を理解し一緒に課題に取り組む姿勢を取っている 常に保護者と連絡を取り合っている	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	4	2	対応について、助言をさせていただくことはあるが、特別そういった場を設けていないわけではない 寄り添いながら、どうしても家で気を付けて欲しいことを上手く伝えられるよう職員と相談している		

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	3		契約の際に担当者が目の前で一から説明を行っている 不安・不満につながらないように心掛けている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	2		直接保護者へ連絡をし、対応している 連絡帳や直接ご相談をいただくことがあるが、必ず現場責任者から適切な返事ができるようにしている 必要な助言ができていないか分からないが、寄り添い話をしてもらい、相談できる相手になりたいと思っている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	4	2	保護者参加のイベントは行い始めたが、保護者会等は行っていない 少しずつできるようになってきた	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	2		苦情等あった場合には、家に直接出向いたり電話をして対応している 苦情に対し重く受け止め、苦情窓口を設置し現場と相談窓口の両方から対応している 職員で話し合いながら、保護者の立場に立って考えるようにしている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	2		月に一度の通信とブログで発信している	
	35	個人情報に十分注意しているか	7	1		個人情報の書類等は鍵付きの棚に収め、適宜施錠している 新しいスタッフへも確実に伝えることを大切にしている 個人情報が記載されているものはシュレッダーにかけて破棄している	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1		子どもたちや保護者からの言葉を何よりも重要と考え、それを支援に反映させている 相手の立場に立つこと、誤解が生まれない言葉選びに配慮している	相手の立場に立つこと、誤解が生まれない言葉選びに配慮している
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	5	今後の予定として、社会福祉協議者会のイベントに参加予定	お祭り等、子どもと一緒にどのような参加の仕方があるのか検討している
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	3		伝えてはいるが、周知の部分は足りていないと感じる	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	3		月に一度、火災・地震・不審者のいづれかの避難訓練を行っている 子どもが不安にならず、安心につながるように行っている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	3		虐待防止委員会を設置し対応しているが、現時点では研修は数回のため、今後より多くの研修を行っていく 適切な声掛けを伝えている	虐待防止委員会を設置し対応しているが、現時点では研修は数回のため、今後より多くの研修を行っていく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	3		契約の際に説明と同意書をいただいている 事故報告・ヒヤリの内容を法人内で共有している パートスタッフと連携を取り、正しい拘束を考え説明し行うよう心掛けている	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	4	1	食物アレルギーをもつ利用者が現時点でいない 新規の利用者には必ず情報を提供してもらう	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	3			